

「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」 中間評価結果

大学名	大阪大学
-----	------

(総括評価) A	これまでの取組状況を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本取組は、大阪大学が部局での努力の成果を活かしつつ、学長のリーダーシップの下、本部として適切な調整を行いながら注意深く組み上げた国際化プロジェクトである。</p> <p>その意味で、取組の成否は、これを担当する部局の教育研究の質によるところが大きいと考えられ、とりわけ「インターナショナルカレッジ」における英語コースについて、ハンドブックを刊行するなど、その質の維持には格段の努力を払っていることは大いに評価できる。</p> <p>また、受入留学生数、外国人教員の採用数は目標値を上回る実績があがっている。留学生の満足度も高いことが認められ、教育研究システムが十分に機能していると判断できる。</p> <p>同時に、大学本部の適切なリーダーシップにより、部局における教育研究の国際化を一層刺激することが重要であり、大阪大学においては「国際交流担当理事・副学長」および「国際交流室」を中心として学内に設置された種々の組織が有機的に連携しつつ適切に実施されていることが認められる。</p> <p>今後は、この事業の趣旨を活かしつつ、当初の計画に沿って取組を進め、大阪大学の一層の国際化を進められるよう期待する。</p>	